

公表: 2022年4月1日

事業所名 円山ジュニアスクールPAL

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			のびのびと活動出来るスペースを確保しています。	感染対策として、利用途中で体調不良になった児童を安全に待機させる場所を確保する
	②	職員の配置数は適切であるか	○			有資格者を基準配置数より1名以上多く配置しています。	言語聴覚士を配置できるように採用活動を行っています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			室内は段差を無くし、個人ボックスで私物を管理しています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			加湿器と空気清浄機を設置し、感染マニュアルに沿って清掃作業を実施しています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			ICTを活用し職員間で情報共有を行っています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向けアンケート結果を職員間で共有検証し、業務改善に努めています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			HPで公開しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○				第三者評価は行っていませんが、地域と連携し業務改善を行っています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人全体で外部に研修を依頼し月1回実施しています。	職員が積極的に外部研修に参加できる仕組みを作ります。
適切な 支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			本人の様子と保護者様からの聞き取りを行いアセスメントを実施しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			検査結果や他機関の評価表を使い標準化を図っています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			ガイドラインの支援内容および保護者様の意向を組み入れて支援内容を設定しています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			支援計画の課題を日々の記録で評価しています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			プログラム担当者が中心となり職員全体で取り組んでいます。	

	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			プログラム実施記録を作り、プログラムが固定化しないようにしています。		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			個別に活動目標および支援方法を設定しています。		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			出社後に当日の利用児童の確認と支援及び業務確認を行っています。		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後に振り返りを実施し、利用児童の個人記録を作成しています。		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日個人記録を作成し、職員全員で共有しています。		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを実施し支援会議を実施しています。		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者と担当職員の2名で対応しています。		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			幼児教育センターや保健師、児童相談所と連携しています。		
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○			現在、対象となる児童の利用がありません。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○			現在、対象となる児童の利用がありません。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				積極的に連携を行い、見学と面談を行っています。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				学校見学の同行と担当教諭との面談を行っています。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				オンライン研修と機関支援を継続的に受けています。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○				現在はコロナ感染により、外部との接触を控えています。	地域のイベント等にオンラインでの参加を検討中です。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○				オンライン研修に参加していきます。	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				連絡等やSNSで情報交換を行っています。	
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○				保護者様からのご相談を受け、個別に対応しています。	

保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			ご見学時とご契約時に説明を行っています。	
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			面談を実施し、同意を得ています。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			SNSと電話で随時相談をお受けし、対応しています。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			コロナ過で交流する機会を持ってませんがオンラインでクリスマス会等を実施しています。	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			夜間や休日にも対応できるように管理者が苦情責任者となり苦情の対応をしていきます。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月PAL通信を発行の他、プログラムの様子をSNSにアップしています。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			法令に従い業務を行っています。	
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			お子様や保護者様に合わせた伝達方法を行っています。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現在は実施していません。	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			各マニュアルを作成しHPに掲載しています。避難訓練を実施しています。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に避難訓練を実施しています。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこのどもの状況を確認しているか	○			契約時と4月に児童情報を更新しています。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			保護者様から聞き取りと指示書を確認して対応しています。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			毎日の振り返りでチェックを行い集計しています	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			定期的に研修を実施しています。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			契約時に運営規定で説明しています。※現在は対象となる児童はいません。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。